

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県伊勢佐木警察署協議会
日時	令和5年7月27日（木）午前10時から正午までの間
場所	神奈川県伊勢佐木警察署
出席者	<p>1 警察署協議会側 織茂圭賛、白井崇雄、河原敬子、木村友之、野村真人、山森典子、蒲谷千恵、山下大輔 計8人</p> <p>2 警察署側 署長 倉林徹、副署長 塩田信之、会計担当次長 千秋昭蔵、生活安全担当次長 鴫田直樹、 刑事担当次長 村上直幸、地域担当次長 小川敏行、調査官 早野康隆、留置管理課長 高松 尚弘、生活安全第一課長 金子淳也、歓楽街対策官 常盤勝彦、刑事第一課長 四釜真一、刑 事第二課長 和知大輔、交通課長 田口晃、警備課長 田部勇二 計14人</p>
議事要旨	警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明
	<p>1 前回諮問「アクティブ交番の効果的な運用について」の答申概要</p> <p>(1) アクティブ交番の効果的な運用についての諮問だが、周知できていない。 我々を含め、アクティブ交番を知っている方が少ないので、まずは周知活動を徹底してもらいたい。</p> <p>(2) アクティブ交番の車両が止まっていると、交番活動を行っているのではなく、事件や事故の警戒をしていると思ってしまう。むしろ近寄りがたい。交番機能を有しているパトカーであることを、我々は知らないなので、パトカーの業務とは異なる車両であるということを周知してはどうか。</p> <p>(3) 拠点をも3か所設定して活動を行っているということだったが、その3か所の拠点に、アクティブ交番を運用しているという掲示を依頼して周知を図ったらどうか。</p>
	<p>2 措置結果</p> <p>(1) 警察署のホームページのトップページによりアクセスしやすいよう、トピックスとしてリンクを設定した。</p> <p>(2) アクティブ交番を周知させるため、ザよこはまパレード（5月3日）で先導車両として使用した。</p> <p>(3) アクティブ交番の所在を明らかにするため、本部配布ののぼり旗を配置時に掲示した。</p> <p>(4) 警察署のホームページにアクティブ交番の役割を簡記したリンクを設定した。</p>
	諮問
	「火山対策について」
	答申
	<p>1 火山対策の情報共有</p> <p>(1) 小学校や木造地域などへの、火山対策を組み込んだ情報発信（特に降灰などの処理方法の知識）</p> <p>(2) 火災、地震対策を行っている組織は見られるが、火山対策は行っていない地域が多いこと</p>

から、そういった組織に対する講演などの実施

(3) 情報発信の際における、外国人居住者向けの多言語での発信

2 交通路等の警戒活動及び対策

火山災害に限られたことではないが、道路の復旧、交通の確保は、災害発生時の生命線になることから、平素からの対策、想定を行ってほしい。

3 備品不足の解消

火山の噴火が起こり、火山灰など降灰するような状況になると、伊勢佐木警察署ではマスクなどの備品が不足していると感じるので、補充体制をきちんと取ってほしい。

業務説明

前四半期（令和5年4月から6月まで）の業務推進結果及び今四半期（令和5年7月から9月まで）の業務推進重点については、事前に資料を委員に配布し説明した。